

平成30年度 下水道維持管理業務取組発表会
発表概要

所属 遠賀川下流浄化センター
発表タイトル ポリ硫酸第二鉄の使用量削減について
取組の目的 臭気対策（作業環境の改善）と重力濃縮槽のスカム対策として、濃縮槽にポリ硫酸第二鉄（以下、ポリ鉄）を投入している。臭気対策に関しては、今年1月よりホッパー室で利用を始め、従来品よりも消臭効果が高い消臭剤（デオマジック）で対応し、ポリ鉄の使用量の削減に努めた。
取組内容 臭気対策でデオマジックの使用。（ホッパー室、重力濃縮棟） ※噴霧器は既設のものを使用。 ・ホッパー室において、従来品と同じ噴霧方法でデオマジックを使用し、消臭効果を確認しながら希釈倍率や散布量の調整を行った。 ・重力濃縮棟において、デオマジックの消臭効果を確認しながら、ポリ鉄の使用量の削減を行った。
取組成果・効果 ① ポリ鉄の使用量及び削減額について 使用量は日平均で約36%の削減。（4月～1月24日） ② 消臭剤の使用量及び削減額について 使用量は約2.2分の1になった。（4月～1月24日） デオマジックの単価は、従来品の約5.5倍であるが、希釈倍率が高くても消臭効果があるため、結果的には使用量が少なく済み、経費も約75%削減できた。また、散布量が少なく済みため、作業時間が短縮され労務低減が図れた。